

# 国際交流サロン

5月の「世界の国技を見てみよう」は「インドの国技・カバディ」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	インド	国技	カバディ
どんな競技か	各チーム7名が13×10(女子は11×8)メートルのコートで両サイドに分かれて争う競技です。攻撃チームからレイダーという攻撃者1名が、アンティと呼ばれる守備7名のコートに入れます。レイダーが「カバディ、カバディ…」と連呼しながら、守備チームのアンティにタッチして自分のコートに戻れば、タッチした人数分が得点になります。この連呼をキャントと呼び、攻撃者は一息分のキャントの間しか攻撃できません。	守備チームはレイダーが自陣に戻るのを、四肢・胴体を捕まえてキャッチングできれば1点が入ります。タッチとキャッチングされた選手はアウトとなり、味方が得点するまでコート外で待ちます。男子20分ハーフ、女子15分ハーフで点数が多い方が勝利となります。	
同じ国技の他国	バングラデシュ		



アラブの楽器を演奏する大使館員  
(カタール国ナショナルデー)

## 笠間市国際交流協会総会のご案内

笠間市国際交流協会総会を6月21日(土)、午後1時30分から笠間稻荷神社 稲光閣にて開催します。

協議終了後、高橋協子さんと寿 夢子(山口由美)さんをお招きして協会員とのコラボによる笠間の民話を中心としたストーリーテリングの会を開きます。

皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel090-2761-8711(木村 美枝子)



▲ 職員に訓示する山口市長

本市としても高齢者の健康づくり、生活支援、見守り体制、在宅医療の充実、少子化対策として子育て支援、出会い系の創出等の一層の充実を図つてまいります。そのためにも行政改革や公共施設、事務事業の見直しを行い、継続的に行政サービスを行える組織体制の充実・強化を推進し、「生住みたい」と思える笠間市づくりを着実に進めています。

笠間市長  
山口伸樹

## 少子高齢化人口減少社会

市  
長  
コ  
ラ  
ム

本年4月23日より、引き続き4年間市政を担わせていただきました。市民の皆さんに負託に応えられるよう、誠心誠意取り組んでまいりますので、今後もご協力とご支援をよろしくお願いします。

さて、先月総務省が発表した人口推計によると、日本の人口が前年より約22万人減少し、労働力の中核となる15歳～64歳の

以上の中高齢世帯主が全世帯の4割を超えるとのことです。少子化による高齢化・人口減少社会が進むことが予想されたとはい、大変シヨツキングな数字であり、行政、民間等社会全体として取組みの強化をしていかなければならぬ緊急の課題であると感じました。

生産年齢人口が8,000万人を下回りました。また、国立社会保障・人口問題研究所の発表によると、2035年には65歳以上の高齢世帯主が全世帯の4割を超えるとのことです。少子化による高齢化・人口減少社会が進むことが予想されたとはい、大変シヨツキングな数字であり、行政、民間等社会全体として取組みの強化をしていかなければならぬ緊急の課題であると感じました。